

漫画少年 ドゥヴァイ



しりあがり寿、タナカカツキ、天久聖一
河井克夫、長尾謙一郎

展覧会会期 二〇〇九年九月十八日(金)〜十一月二十一日(土)(日・祝休み)

開催時間 午前十時〜午後八時三十分

入場料 無料

主 場 所 静岡市クリエイター支援センター(CCC)
催 静岡市クリエイター支援センター(CCC)

このたび、CCC（静岡市クリエイター支援センター）では、2009年9月18日（金）から11月21日（土）まで、「漫画少年ドヴァイ」展を開催いたします。本展は、静岡市出身のしりあがり寿を中心とする、タナカカツキ、天久聖、河井克夫、長尾謙一郎の5人のマンガ家が、マンガの可能性をアートの拓ける初の試みとなります。

「漫画少年ドヴァイ」では、参加作家が全員漫画家であること、また、会場となるCCCが小学校舎であるという特性を踏まえ、漫画家を目指す架空の小学生、ドヴァイを主人公に、彼の当時の学校生活、プライベートな日常、また内面の心象風景などを、オブジェ、インスタレーション、虚構の資料などによって多角的に再現します。

作家がおの自分の自らの作品を持ち寄るグループ展とは異なり、五人の作家が共同でひとりの小学生をテーマにした架空の世界観を構築することに、本展の意図があります。

会場各所に展示される作品を手掛かりに、ドヴァイの学校生活を追体験することで、鑑賞者はそれぞれの物語を自由に想像することでしょう。そのイメージレーションこそが、5人の漫画家たちが試みる、受け手の心に直接描かれた「漫画」なのです。

漫画少年ドヴァイ 展覧会

会期 二〇〇九年九月十八日（金）～十一月二十一日（土）（日祝休み）
開催時間 午前十時～午後八時三十分
入場料 無料
場所 静岡市クリエイター支援センター（CCC）
主催 静岡市クリエイター支援センター（CCC）

漫画少年ドヴァイ 関連イベント一

クリエイティブ・トークショー

「なぜ今、ドヴァイか？」



日 九月十八日（金）午後六時三十分～八時
場所 静岡市クリエイター支援センター（CCC）三階プレゼンテーションルーム
参加漫画家 しりあがり寿、タナカカツキ、天久聖、河井克夫、長尾謙一郎（予定）
定員 八十名（要予約先着順）
参加費 無料
お申込 氏名・会社（学校）・電話番号・メールアドレスを、記入の上、メールにてお申し込み下さい。info@o-c-c.or.jp
※開催時間、内容は都合により変更される場合があります。

漫画少年ドヴァイ 関連イベント二

オープニングレセプション
日 九月十八日（金）午後八時～九時
場所 CCC三階
参加漫画家 しりあがり寿、タナカカツキ、天久聖、河井克夫、長尾謙一郎（予定）
参加費 五百円（要予約）
お申込 氏名・会社（学校）・電話番号・メールアドレスを、記入の上、メールにてお申し込み下さい。info@o-c-c.or.jp

漫画少年ドヴァイ 関連イベント三

CCCキッズマンガワークショップ

「漫画の素」

今回は漫画を描くだけでなく、漫画の素になるオモシロイ発想を育てる楽しいワークショップです。ちよびりハメをはずして落書きしたり。夏休みの思い出にプロの漫画家と一緒に漫画で遊びましょう。どうぞ、ふるってご参加ください。

漫画家からのメッセージ

しりあがり寿

「夏休み、ボクと一緒に「オモシロイこと」をしてみませんか？漫画に大切なのは面白がる心、「オモシロイこと」は日々の暮らしのいろんなところに潜んでいます。さあ、いつもはマジメな学校で漫画の素、「オモシロ」を探しましょう！」

天久聖

「みんなマンガは好き？マンガは読むのもおもしろいけど、かければもっと楽しいよ！え？でもどうか？いいかわからない？イヤイヤ、どうか？いいのがマンガなんだ。だれも見たことない君だけのマンガに挑戦しよう！ボクがお手伝いします！」

※ワークショップで制作された作品は、「漫画少年ドヴァイ」の中で会期中展示予定です。

日 八月二十一日（金）

しりあがり寿先生の部屋

「名前に挑戦！」と「机に落書きをしよう！」

A 午前十時～十二時

B 午後二時～三時

天久聖先生の部屋

「オリジナルマンガの表紙を描こう」と「マンガ習字」

C 午前十時～十二時

D 午後二時～三時

河井克夫先生（副担任）

講師 しりあがり寿、天久聖、河井克夫
場所 静岡市クリエイター支援センター（CCC）三階
対象者 A.C.D対象／静岡市内の小学生（四五六年生）
B対象／静岡市内の中学生
各二十名（要予約）
持ち物 色えんぴつ、サインペン、習字セットなど。
その他、マンガ家に作品を見てもらいたい人はぜひ、作品を、持参ください！
参加費 五百円（材料費）
予約受付 七月十日（金）午前十時～
受付日時 月～土 午前十時～午後八時三十分
お問い合わせ 静岡市クリエイター支援センター（CCC）
〒420-0853 静岡市葵区追手町4番16号
電話番号：054-205-4750
ファックス番号：054-293-4332
メールアドレス：info@o-c-c.or.jp
※詳細はウェブサイトを、ご覧ください。
内容は都合により変更される場合があります。

プロフィール

しりあがり寿 しりあがりことぶき

1958年静岡市生まれ。1981年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業後キリンビール株式会社に入社し、パッケージデザイン、広告宣伝等を担当。1985年単行本「エレキナ春」で漫画家としてデビュー。パロディを中心とした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を浴びる。1994年独立後は、幻想的あるいは文学的な作品などに発表。マンガ家として独自の活動を続ける。近年ではイラスト、映像、ゲーム、アートなど多方面に創作の幅を広げている。2000年、第46回文藝春秋漫画賞、2001年第5回手塚治虫文化賞「マンガ優秀賞」を受賞。
http://www.sarunaga.com/

タナカカツキ

1966年大阪生まれ。京都精華大学美術学部ビジュアルデザイン学科（現デザイン学部）卒。在学中の85年にマンガ家デビュー。卒業後は、劇団主宰、放送作家などを経験し、94年フルCGアニメーション「カエル」の制作を機に映像作品を発表するようになる。森美術館「六本木クロッシング」日本美術の新しい展望2004に参加するなど幅広く活動。著書は「バカドリル」（天久聖との共著）、「オットントンちゃん」など。映像作品集はDVD「SUNDAY」[TANAKA TATSUO]（ポニーキャニオン）による映像ドラッグ「ALTOVISOR」(ポニーキャニオン)を発表。
http://www.kaerunaga.com/ka2ki/

天久聖 あまひさまさかす

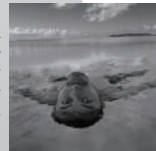
1968年香川県生まれ。神戸拘留所の刑務官を経て、1989年にバンチザウルス（マガジンハウス）にてデビュー。1994年に発表したタナカカツキとの共著「バカドリル」がサブカルチャー界隈を中心に大ヒットとなり、注目を集めるようになる。以降は「バカドリル」を軸に「フツクンくんオーロル百科」「バグランドンヨ日本」を発表。不条理かつ前衛的な作風でカルト的な人気を博した。マンガ家以外の活動も多く、親交の深い電気グルーヴやゆらゆら帝国のプロモーションアニメの作製や、演劇脚本や小説執筆、映画監督など多彩な活動を行っている。
http://bakadrill.com/pe/

河井克夫 かわいかつお

1969年、愛知県生まれ。ギャグの中に一種独特の暗さや不安感を感じさせる作風で、1995年「雑誌」ガロにてデビュー。以来、メジャーメジャー問わず、様々な媒体で作品を発表している。著書に「女の生きかたシリーズ」「日本の実話」「クリスチーナ」「出会いK」（以上、青林工藝舎）「猫と負け犬」メデアックフロリール（ポニーキャニオン）「見学！また見学！」（コアマガジン）などのユニット「チーム紅世」による「千夢ヲテ」（ロッキングオン）など、共著も多数。その他、映画、演劇、音楽、Webアニメ製作など、活動は多岐に渡る。
http://kawakakexhiblog.jp/

長尾謙一郎 ながおけいいちろう

1972年愛知県生まれ。1995年ビッグコミックスビジュアル臨時増刊号「小学館」にてアンダーローは終着駅だにてデビュー。1999年に週刊ヤングサンデー（小学館）に「おしれ手帖」を連載開始。2007年（2009年、週刊ビッグコミックス増刊号）小学館にて「キタツキ銀座」を連載。オムニバス映画「ユメノ夜」にて第八夜の脚本を担当。2008年「キタツキ銀座」が平成20年度文化庁メディア芸術祭にて審査委員会推薦作品に選出される。
http://ameblo.jp/theken16/



表紙写真／池田純紀（ゆか）